の裏門委員会は最後 人量は昨暦年度(一九三三年)の総価輸入都警員に 始まる三月三十一日迄の綿布輸が定成立。 した 新日印通商協定成立後會計年度 新日印通商協定成立後會計年度

『北平特電四日韓』郷唐堂軍約一千名は二日末明北平郊外に現れその一都院は北平から一走り一部は英國公使館を襲び附近を掠奪したが警備軍のために繋返され東方に向けて満走したといり、一番は英國公使館を襲びか近を接撃したが警備軍のために繋返され東方に向けて満走した。

附近を掠奪して潰走

滿日、

大每、內地各地新聞販賣

辻山洋行新聞部

三日午後專門委員會

仕してまつ覧所、皇盛殿とが敷高年六本立指修二十六合、 での御歌経遊じされず、この標午前九時並佐蒙典次長以下奉 でののでのではいる。 はちれる御歌定であった三日の元始祭の御儀は宮中央の御願。

聖上御親祭遊ばされず

劉桂堂軍北平潜入

3

所謂危險線も

國民經濟力次第

5.6

年を語る座談會

(=)

電視を開発させられる紡融では ・ 関も鉄府に一性したり大回金融で ・ 関も鉄府に一性したり大回金融で ・ 関も鉄府に一性したり大回金融で ・ はいまするこれを関係するこれを関係するこれを関係である。

月末日までの

的決定を行び會商を終ることくなつた成立を見るに至ったが既に協定細則及び解約交通車と解

えるに至ったが既に協定織世及び條約交起草し飛い完成してゐるので、愈々四日又は五日に本會議を開き最後一日發國通日本代表部が印度側の修正家を受職するに決定した結果三ヶ月餘に三る日印會商も茲に事實上

二日發國通至急報』日本代表部は二日印度側の修正案を受諾するに決定これで日

まのであるが大體三日の墓門委員會で條約装の金般につき意見の一致なみた模様で右草案は五日の本食識で正式に決定される筈である動目方法、総布關税引下げ、総布輸入割管制等施期日に就いて打合せな途げた、これ等議職は五日開かるべき日恥正式食骸の縁題さなデリー三日愛國通』日耶鹿門委員は三日午後四時より敵務省で食糧を贈き、日恥新通融総約草案及び総布輸出総制細目、取権心實施歴

一即時撤回は困難

けふ特別委員會開催

口印會商事實上成立 四、五日に最後的決定



荒木陸相病

佐郷世草に這人つたものさ言へる 佐郷世草に這人つたものさ言へる 佐郷世は粉米條約の一環さして の含されるものなる放戦質的には には

五に新潟

大連市武藏町六六

**人保田寫眞製版所** 

電話八六三一番

うだ、一般に はその實現性 副總裁秘 原のあり理解 に入った で語り出郷 敦賀の比較 長所を持つ

本 終子は、上国黒の伯母の家から 他母の家はは種木職であるが、こ の頭の不原紙で、月の内半月位しか、十七になる長男が、地ビルのおうが、十七になる長男が、地ビルのある意味の総仕になって、生活のある意味の総仕になって、生活のある意味の総仕になって、生活のあるでは、かけ、自父が律義者の好人物でないが、自父が律義者の好人物では、

大連市淡路町七

菱川大昌堂藥局

電話七八九三番

は戦人の中から、月十回な悪い女ではない。それ

さ云つて伯母も、女給になら

て、肉親である伯母の方が、フラしてあて、自分の貧乏が苦しくなるさ、蛭の美味をごうにかし で持つてるて、エレヴエーターの「ほんこうに、綾子さん位の器観 ら戦然さしてエレヴエーターのハ 最後に社員會上京代表の行動に就

大連市近江町

ばら

生活の虹③

消鐵重役會議

二年内は絶對移さめ

い筈

政總裁歸連談

座います、何卒倍舊の御引立をお願申上ます店、常盤橋支店共に御愛顧に報ゆる念願で御本年は更により以上の努力を主とし浪速町本昨年中の御引立を厚く御禮申上ます

連著名商店

はない。生頭に立つ はない。生頭に立つ ありますから、英國 が中國内において非 少多に國は――ロシア りまでが――立来は で、國防を今の減り充強して、これと、たとび一二これを維持して行く事さへ出来れば で、この有力 でして、この有力 でして、このでして、このでして、このでして、このでして、このでして、このでして、このでして、このでして、このでして、若し持分 のでして、このでして

矢野恒太氏の意見

居る國民が兵権歌から、 らゆる方面において関手を承つて 国民総派の力を資かのには歌素も

さ見えて、総数の着物な着いない。

ってい

大連市浪速町一丁目

である。寒極なバスした

分つてゐない。それは彼女にも

電話四六四九番

連着名商店

二日執政府前記念撮影

在影響機士が木原紫護士を背低さ一所にある篠崎氏と示談の突渉を進 能能野監顧の擦密者でありながら 木原氏は壁明の形式を以て次の如 が発映樂館憧櫃者配代表者香川氏 大原氏が映樂 めたこ云ふ點にあるが、右に黙し を続いった。 大原氏は壁明の形式を以て次の如 はない。 大原氏は壁明の形式を以て次の如 はない。 大原氏は壁明の形式を以て次の如

非難を甘受し

正道を往く

木原辯護士の聲明

り秘密協議を行

| 職軍の職志物表(同大の強力なフル武性大學のラグビー戦は三日午後、 一の跡者を決する早稲田大學野同して、東京特電四日襲」全日本ラグビした

を し に うイ、後年 同大殿上の一ゴールート ベナルテイゴール 即ち八 歌八の 同 ペナルテイゴール 即ち八 歌八の 同 しめる陰を襲へず戦のは風上に

を満載して頭かにも陽気なラッシュ・アワーを見せた、しかしごこも今日は出動簿に印を接して社内 日さめつて蛇外のサラリーマンを市中に運ぶ三號、二號、七號系の各電車は酔ひ正月、遊び正月の顔 四日正月と候職、温暖――この日は各官廳浦籔を始め市中各銀行、倉政、商店の御用始め、滿洲景気 昭和九年の正月は原年にない決略できて依日に惠まれて楽しいだの内行進間を奏して行く 同士の質辭を交換する程度で仕事らしい仕事もなく午前甲には退けてそれるく家路に、映識見に、麻 インフレ閉鎖、軍需開氣等々々、閉氣の自乗、三乗に繋が上にも人類が立つた昭和九年の仕事の第一 そして五日は新年宴覧で休み、六日は土曜日で七日は日曜、 きを執るため職果職派して改手額。 総任は本田縣域に地議し正式手額。 架橋を職職に決定この留岩井保安

童に、歌留多に、ゴルフに、飲みに……

香川氏相手に告訴を提出

目に明大 スピード

活躍

全種

用を認可することは能りなられる「館使用許可名義人篠崎豐彦氏のては権利者の決定せの無行場の使」し節平こして既定の方針通り映版にあるので行政警察の立場さし」の意見から双方の運動を一切底

同志社追撃し

早大と引分

全日本ラグビー争覇戦

岩井保安主任が赴旅

を申請

機和金額で乗宝の第二週プロを上 してあたが、長氏側では八日まで してあたが、長氏側では八日まで してあたが、長氏側では八日まで してあたが、長氏側では八日まで 從業員が陳情 長氏は營業認可出願

より舉行された、

會第二日(三

り堂々優勝し三年油

第九回全國學

映樂館問題から

辯護士會紛糾せん

の解決を見ざる

熊護士が本原総職士に對し、事代の意味を陳情した際、五泉

傾慨する木原辯護士

暴行 鴨綠江氷上 交通許可 愈よ四日から

三日午後四時頃中央公園内忠憲塔の一丁目小牧田では、西公園町派出所に急報したので山口警部補が徹識に起来したので山口警部補が徹識に起来したので山口警部補が徹識に起来したので山口警部補が一般である者を通れていたが右は市内警衛軍 で新義州この渡海、橋の突通が腰ー四日より水上の突通を評可したの間安東特電四日襲」安東警察署は 公園で自殺

たものちらく最後のよび出に四阿 薬にかより悲戦の結果自然を配っ 東子店々食小畑金ー("も)でアル中 ででアル中 し嚥下してるた 平島知健、三菱倉谷庄三郎、東神倉長中村孝次郎、住

女給を傷

保護で来連友

天気予報

際原ハルエへもに暴力時ごろ奥町リリー 八五人で強か勝つば

滿人ボー

二名慘殺

奉天小學校で

鞍中勝

全國

式大會

天千代田小慶校徹底室において滿また曜めやらの松の内の四日棚奉また曜めやらの松の内の四日棚奉

今日の小洋相場(時年)

警口零下一度 新嘉州客下三度 放顧零下一度 新京 未着 北西の風晴

躍る満洲景氣明朗色

(=)

に惠まれ

## 華やかな職場風景 御用始めの満鐵廊

た、皆思ひくくに室から室へさ「連れ歩く様は金魚綵でも覗くやう「始め風散の一つでも地で耐泉一同なごやかな縫を揃へ」て、今日を晴れさ着腕つて廊下を「たちにひやかされて緑間壁の懸夢もどうやら裾いだ心」で纏る、人目をひくのは婦人酸真」今日だけは高島田で緑鍛の御用始めは昨年秋以来の吹」「明けまして御目出たう」を云つ「平生洋版ばかり着て満鍛の御用始めは昨年秋以来の吹」「明けまして御目出たう」を云つ「平生洋版ばかり着て

疑問視される

世の係約三週間の陳

かる丸で上京

のる、三日夜師へ あるのも御用

關東廳の

錫聲一鳴此處に昭和九年の新春な皆様で共に迎へる事の出水

新

文店開設後の第二年た無事に越年させて頂きました事は大方岩様の御愛騒並に御厚情の翳さ私始め店員一同感飲さ

て皆様の御期待に副ひまて機親切、丁寧、迅速をモット

一個の針でも御用命を仰付け下さいます

**富樂** 

家出人搜查願

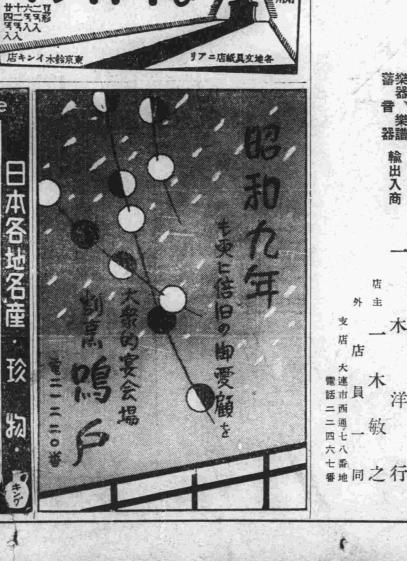
機嫌から

職中共にフォワードに見るべきさか 合は去年の後継載である、戦中、 会は去年の後継載である、戦中、 バックに球は渡らす僅かに鞍中體

カフェ

新興で喧嘩





ングに荒い純のツボンをはい

上で年をさり、下鵬でお鎌倉を 三十一日に東京をたつて汽車の 大橋やいである 器より推して個人の目見ばつきのと見られてゐるが遺留品及び

なってるる原風は怨恨らしいさに手配をなら逮捕も時間の問題を

飛行計畫

of

Joy

界各

國酒類

食料品

通

9

店

the Taste

ナ

ッ

ツ

is

ター

・七五

美味、榮養、

うらる丸船客間司特 大連入港の

帰嘉城(せ)(友)

新春の御買物は 營業時間變更 浪華洋行へ

前門田特午前八時半寺午後九時を營業仕候 「朋四明特午前八時半寺午後五時を營業仕候

われ等には用はな

三郎、阪東好太郎、高田浩吉 映納界入りなるた中村鴈治郎

遠

観音様のやうな美

日

浦

のさ云つては

相手にしてゐるのが、

戦行を慰讃しまた豆に鍋をけづり 代戦「光下左騰」を以て依然早朝 日活館はファン徐望のトーキー時

またまテル」を上映し

宝つては、さし道つた船は、自然船の中に取残され、自然船の中に取残され

とは京大阪の見物と胸落たもので ながれる

映書與行

被導の多くは、長い船路をはる

て、被祭は腹ご

亨

(2)

選らい、生命知らずの風強な壮者一人位もあたらうか、赤鹹色の、開の間に集まつた舟子潔は、二 いま船では、書の仕度が出來た 「手前こそ、高須の里の地獄太夫 を動ちいて、よくそんな白々しい 嘘が云へたものだのう」 「阿呆拔かせ、紫野の一体(穏き間) 「知らいで何を云ふ。京の女は骸 男、二人の論爭に割つて入つた。

層の間に集まった舟子遊は、

大連市

乃

江

六

うるさげに難する方に限なった一人の

謹 賀

連

例·日活館

前週連日滿員厚く御禮

上ます。

新 年

(可認物便郵種三第)

た、水晶のやうな鴨川の水で良の女が佛様なら、京の女は 質けの無でまく しい女の、御 

名

滿鐵弘報係製作

校

長

璽

菊池寛原作・鈴木重吉

新池覧――鈴木覧吉――鈴木 春代――がガッチリ四つに組ん 春代――がガッチリ四つに組ん 東吉の映画的タッチはこの近代 東吉の映画的タッチはこの近代 東古の極愛觀の對立なあらゆる

一いづれを見ても山家青ちか 細れてある 詳楽を見廻した 「藤黄の花がや、しょうがれたの楽に盛られた食膳につくさの屋の楽に盛られた食膳につくさ

子機の昔から澤山居るさ云ふこさ

栗務

俊

「なりや、このちで云かこさだ。死にそこない奴が!」 松下の地獄でも 度云つて見



**浜 護 謨 製 造 會 型** 

靖安軍司令

井

重

郎

にきた伊青そむて あ所・藤光しせの すっ日大切の で表力である。

対します。 対します。 対します。 対します。 対します。 対します。 対します。 対します。 対します。 があったせら…… を見に放すべき事を成し での再見、三見を是非 がします。

入口の壁を冷

奉

段 大連市大山通五八 民

戦 左大河内 ・ 大河内 ・ 大河内

時しつ、爆進して來る!! アイズム!蒼白い感情! アイズム!蒼白い感情!

高真機材料 電話六七四九番 東連市西通三五 大連市西通三五

連 電話二十二二五番 大連市連鎖衝嶺小路 一二二五三番 一二五三番

なつてやあわい。」なってやあわい。」

「初陣」で第二週に入り入場料では多く第一週を打つて四日まだけ多く第一週を打つて四日ま

**飯よりも好きなわらずや、標手**一これは配的い、喧嘩なら三度

つ、ある質能で、高調性の ・ の「放展版本仕義」な呼び物でした。 ・ の「放展版本仕義」な呼び物でした。 ・ の「対の修施版」で「対の修施版」では、 ・ の「対の修施版」で「対の修施版」で、 ・ の「対の修施版」で、 ・ の、は、 ・ の、は、 ・ の、は、 ・ で、 、 で、 ・ で、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 で 、 、 で 、

大

定

始以來の最高峰を具現した

E式オー 於不忘原作·大每東日連載 演主

·藤大輔監督

延午十二時まで御入場の大 をお客様奉仕の一端とした をある様を出りました

いたします。

丸市の戀』子格鳥千

♦?か畵映なんどはと♦

切封館樂映りよ日五

聲發全社ユ 煙血のスプルア

切封日近 書名二い高判評 古付受給配の鮮沸全 古 險 胃のイ 丸市の

開業自慢の日 川 华7封 切 協

定評あるコンビの異色篇! 首を賣る男と首を買ふ女、 淡路千夜子·歌川八重子助演 風 寬壽 郎 主演

會館

原作金子洋文・雑誌キング所載 並木鏡太郎監督

彦幹田長作原 格子鳥 ーオの J 男時關・夫彌美月、演共・・・・子京井櫻

かない悲劇の主人公で

憧れの的だ。



演主ドイロ・ドルロ 篇笑爆大ひ笑初 劇喜大篇長なか朗もてともてと 心用のゴアてつのんなのい白面

よし捲席を街畵映の春新 書名の慢自竹松ふ云とう !容陣の組番贅たへ揃を 即日四でま日五の上日五

城多

耶·八

西 安 派 出 所

**●** 縣

西

安

女

同

西

長安

和製キングラッボンは大變な懸ぎです が次雪子・吉川 満子・高峰秀子 和製キングコング サングラングを大本洋横町・ツボンは大變な懸ぎです



石

田

木

政

● 畵映作特超茂加下 助義 品作督監 應 三泰島冬 · 人

カフエー

安

兵

西

安鄉

四

安

煤

鑛

公

司

國

建

設

上

利

●特別養助出演● 語の鑑賞を迫る 物の鑑賞を迫る

會長

長

澤

紀

代

安

辨